

柔道科学研究

Scientific Research on Judo

第21号 2018

柔道競技における両者の罰則数の差にみる先取ポイント取得比率	1
伊藤 潔	
柔道映像分析システムGOJIRAへの自動トラッキング機能の追加と軽量化	5
木村 広、鶴橋日奈子、石井孝法	
グランドスラム・パリ2017大会男子における固技の競技分析研究	11
川戸湧也、川端健司、鈴木利一、稲田達哉	
全日本柔道選手権大会の試合結果と得点の変遷：2008年大会から2016年大会を対象として	16
三宅恵介、佐藤武尊、横山喬之	
国際柔道連盟試合審判規定の改正が世界柔道選手権大会の競技内容に及ぼす影響	23
—2015年大会と2017年大会の比較— 稲田達哉、佐藤武尊、三宅恵介、横山喬之、川端健司、川戸湧也、石井孝法	
柔道の国際大会における有効な投げ技および施技効力の組み方による違い	30
—グリップチェンジとグリップターゲットを基軸として 伊藤 潔	
リオデジャネイロオリンピック2016 ドクター帯同報告	37
紙谷 武、井汲 彰	
第4回柔道医科学研究会	41
第5回柔道医科学研究会	51

(公財) 全日本柔道連盟強化委員会科学研究部